

新市長が語る これからの名古屋市の観光行政

- 名古屋のサービス業はインバウンドで活性化できるか？ -

基調講演



名古屋市

広沢 一郎 市長

「インバウンド一負け」と言われる名古屋

ですが、この地域には外国人が高く評価する

優れた歴史文化遺産が数多くあることは、

インバウンド観光の専門家が語るどころです。

名古屋城石垣、四間道町並み、有松絞り、大須観音などは、外国人ツアーガイドが人気訪問先として取り上げています。ひつまぶしに代表される「名古屋メシ」は、アジア人はもとより欧米人にも高い評価を得るようになり、これを食べるために来日するインバウンドが増えています。このように名古屋はインバウンド観光のポテンシャルが非常に高い地域だといえます。名古屋の商工業、飲食業、観光関連事業者はこれをビジネス活性化に活かす機会を探っています。その中で行政がどのような方向性を示すのかは大きな関心事です。定時総会の基調講演では名古屋市の新市長から、将来に向けたビジョンを聞く機会とします。

日時

令和7年5月13日(火) 18時

会場

ウインクあいち901会議室

スケジュール

定例会開始	・・・	18:00～
懇親交流会	・・・	19:30～
交流会終了	・・・	21:00

参加費

定例会	：2千円（会員は無料）
懇親会	：3千円
懇親会場	：会議室ケータリング

連絡先 (一社)愛知インバウンド協会 粟津啓介 awazu@belair.jp

*個人会員に入会ご希望の方は、右のQRコードからお申し込みください。

なお、ご入会には現会員による紹介が必要となります。

